

未来への懸け橋となる 静岡大学をめざして

未来を紡ぎ出す人を育て、 未来を切り拓く研究を進める

静岡大学は開学以来、皆様のご支援を受けながら、「自由啓発・未来創成」の理念のもと、未来を見据えた研究を進めると共に、次世代を担う人材を育成し、地域社会の発展に貢献することを目指し、日々活動してきました。2025年は、教育学部創設150周年、電子工学研究所設置60周年、情報学部創設30周年と、節目の年を迎えています。

21世紀を生きる私たちは、予測不能で複雑な多くの問題に直面しています。世界各地で起こっている軍事衝突や、それが引き金となった様々な社会経済変動、近年多発している自然災害や環境変動など、私たちの日常生活の脅威となっている事象は様々です。このような時代を生き抜くため、未来を創造し、新たな道を切り拓くことができる人材を育成し、地域課題の解決に繋がる研究や社会連携等を推進していくことが本学の使命であると考えます。本学にしか果たせない使命への期待に応えるべく、静岡と浜松という特色ある二つのキャンパスを活かしながら、「総合知」と「専門知」を結合させる教育と研究により、「知と人材の集積拠点」として、引き続き地域社会に貢献していく所存です。

近年、我が国の財政状況は厳しく、国立大学に対する国からの予算も年々縮小傾向にあります。そのような状況ですが、経費節減など様々な自助努力や自己収入確保のための取組を続けながら、さらなる財政基盤の強化及び持続可能な大学運営に努めてまいります。そして、確かな運営基盤のもと、教育・研究・社会連携等のあらゆる面において、人と人がつながり、発展する未来を目指します。

また、本学では「静岡大学未来創成ビジョン」を策定し、新たな9つの目標を達成するとともに、県全域での共創により「オール静岡」でポストSDGsを見据えた地域課題解決に取り組み、世界に展開することを宣言いたしました。教職員が一丸となって力を合わせ、これまで総合大学として培ってきた教育研究成果を一層充実・発展させ、現状を変革して強い大学を築き上げることで、世界水準の大学を目指してまいります。

この報告書は、本学の教育・研究に加え、自治体・企業との協働、国際連携や大学運営などの活動状況や財務状況について、ステークホルダーの皆様には、わかりやすくお伝えすることを目的として作成しています。本報告書を手にとってくださった皆様には、本学の取組の一端を知っていただき、今後とも変わらぬ温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

静岡大学長 日詰 一幸



日詰 一幸 HIZUME KAZUYUKI

長野県生まれ。専門分野は行政学。
趣味はスポーツ観戦・音楽鑑賞。

略歴

- 1991年3月 名古屋大学大学院法学研究科
博士後期課程 中途退学
- 1991年4月 名古屋音楽大学専任講師
- 1996年4月 静岡大学人文学部助教授
- 2000年4月 同 人文学部教授
- 2017年4月 同 人文社会科学部部長
- 2021年4月 同 学長